

家庭で できる **学力アップ** プロジェクト

平成31（2019）年4月
栃木県教育委員会

～とちぎっ子学習状況調査 5年間の調査結果から～

本県では、平成26年度から「とちぎっ子学習状況調査」を実施しています。これまでの調査結果から、平均正答率と家庭での過ごし方には、深い関係があることが分かってきました。家庭での学習や過ごし方について、お子様と話す際の参考にしてください。

チェックして
みましょう！



学力を伸ばす

7つの習慣

✓ 家庭での学習

- 授業の復習をしている
- テストで間違えた問題を勉強している
- 学校の宿題のほかに自分で考えた勉強をしている
- 自分で計画を立てて勉強している

✓ 家庭での過ごし方

- 時間を上手に使うことを心がけている
- メールやインターネット、ゲームをする時間が少ない
- 家の人と学校での出来事を話している

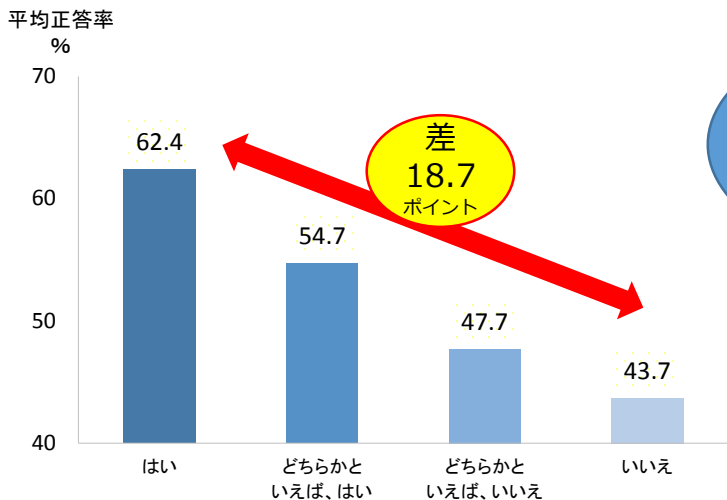


家での自主学習や生活のリズムを整えることが大切です！

グラフは、国語、社会、数学、理科、英語の5教科をまとめた平均正答率と質問紙調査の回答結果の関係を示しています。

テストで間違えた問題について勉強している

平成30年度とちぎっ子学習状況調査より



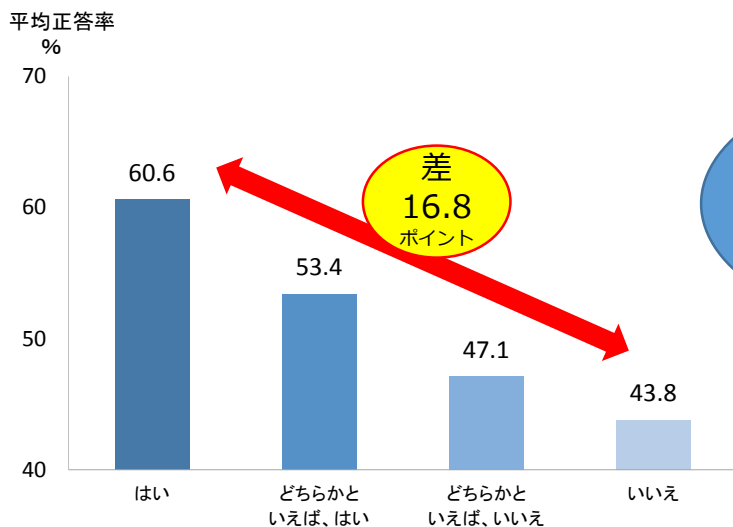
「はい」と答えた生徒は、平均正答率が18.7ポイント高くなっています。



テストの返却時を復習のチャンスと捉え、「どこを間違えたのか」「なぜ間違えたのか」などを確認し、改めて解いてみるのが大切です。

学校の授業の復習をしている

平成30年度とちぎっ子学習状況調査より

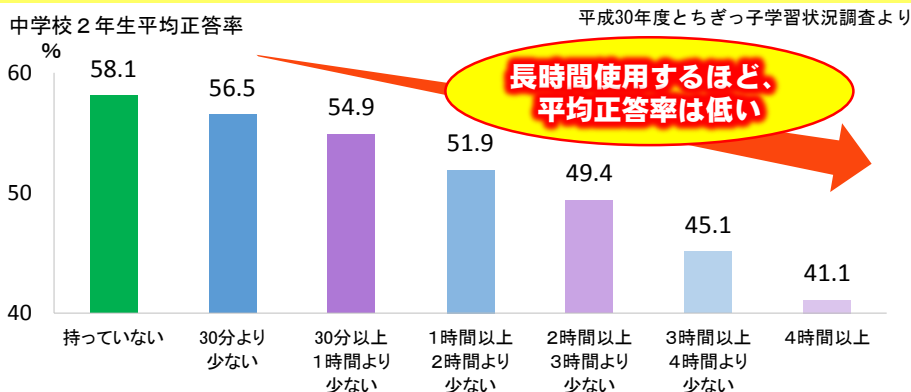


自分で復習をしている生徒ほど、平均正答率が高くなっています。



自分の興味・関心に基づく自主学習に取り組むのが大切です。

平日の1日当たりどれくらい携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか？



携帯電話・スマートフォンの使用は、家庭でのルールが大切！

長時間の使用は、家庭学習の妨げになります。生活のリズムを整えるためにも、家庭でのルールを徹底しましょう。